

北見工業大学 正員 森 弘
北見工業大学 正員 ○中 岡 良 司

1. はじめに

過密過疎問題は、昭和30年代後半以降の国土開発の一貫した課題となっている。新全縦の全面的見直しのもとに策定された三全縦においては、新たに定住構想が打ち出され経済圏、生活圏をめぐる論議が盛んとなっている。過密・過疎現象が都市と農村の表裏の関係以上にそれぞれ固有の問題構造を有しているとはいえ、その対策は個々に成されるものではなく都市と農村をふくむ有機的なひとつのシステムとして捉えられる必要がある。

近年における自家用車の普及、交通網の整備による生活の広域化は、地域の在り方を従来の都市と農村という区分からより高次な地域共同体として考える段階に來たことを示している。本研究は、北海道北東部に位置する網走管内を対象に地域住民の日常生活関連施設の地域依存の実態を電話調査法によるアンケート調査をし今後の地域計画の方向性を見出そうとするものである。

2. 対象地域の概要

調査対象地域とした網走管内は図-1に示すように3市20町3村から成り、そのうち北見市、網走市、美幌町、斜里町、遠軽町を除く21市町村が過疎地域の指定を受けている（昭和53年4月1日現在）。昭和45年から昭和50年までの国調人口で20%以上の人口減少率を示したのが3町、10%以上20%未満の減少率を示したのが11町村で大部分が人口減少地域である。そのなかで、北見市だけが約10%の人口増加率を維持し地域の中核都市として発展を続けている。

3. テレホン・アンケート調査の設計と調査の概要

(1) 電話調査法 本研究で用いた電話調査法（テレホン・アンケート）は、他の代表的調査法（訪問面接調査法、留置調査法、郵送調査法）と較べその利点として①少ない費用・人員で広域調査が可能である、②直接応答するため調査結果の信頼性が高い、③短期間で多量のサンプルが確実に得られる等があるが、反面、その欠点として④調査内容量が限られる、⑤調査対象者が電話保有世帯に限られる等があり実施に際しては十分な配慮が必要である。本研究では、対象地域が網走管内全域で広域調査が必要とされたこと、調査内容を最小限にとどめたこと、電話保有率が高かったこと等から電話調査法を用い4日間で1,067のサンプルを得た。

(2) サンプリング 各市町村の抽出世帯数は、平均世帯間距離（世帯当り可住地面積の平方根）に比例させ求めたものである。すなわち、同一可住地面積の町においては世帯数の多い町より世帯数の少ない町からの抽出数を多くして各世帯の地域に対するウエイトを等しくしようという試みである。その結果、各市町村の抽出率は最低0.41%から最高9.13%までそれぞれ異なり平均抽出率は2.67%であった。なお、北見市と網走市は明らかに独立性が高いので調査を割愛した。

(3) 調査内容 調査項目とその質問内容は、表-1に示すとうりて"あり"各項目毎に④行先地名、⑤交通手段、⑥所要時間の回答を得た。また、回答世帯

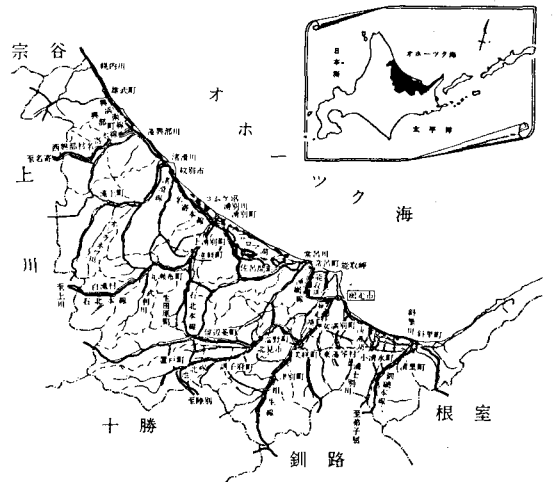


図-1 調査対象地域

の属性として④おもな職業を調べた。

表-1 調査項目とその内容

4. 調査の結果と考察

(1) 地域依存率 各市町村の回答総数のうち行先地名を他の市町村と答えた割合を地域依存率と定め各市町村の目的別地域依存率を示したのが表-2である。端野町、生田原町、湧別町などでは催物を除き毎日の買物をはじめ調査項目の大部分を他市町村へ依存しているのがわかる。概して、過疎地域の指定を受けていない町村の地域依存率は低い。

(2) 地域依存率の町表 各市町村間の依存関係は地域依存率による町表を作ることにより明確となる。いま、地域依存率が高率となっている

「重医療」について地域依存率の町表を作成すれば表-3のとうりであり、依存・被依存の関係は明確である。同じ町村にあって目的地を選択している場合もあり生活圏の設定等に考慮する必要がある。

(3) その他 交通手段としては自家用車が圧倒的に多く地域住民の生活に不可欠なものとなっている。目的地で「所要時間は過疎町村と非過疎町村の間で相違はみられなかった。回答世帯の職業は本研究で用いたサンプリング方法から第1次産業に従事する世帯が高く抽出された。

分析結果の詳細は当日会場で発表する。

5. まとめ

本研究で用いた電話調査法は有効な社会調査法の1つになりえるものと思われる。また、分析に使用した地域依存率は近郊都市への依存という形で不足する社会サービスを享受する農村の姿を明らかにするとともに、視点を変えるならば地方中核都市の地域における役割・魅力をも明らかにするものとなるであろう。

最後に、本研究に協力された本学卒業生近藤千代美君に謝意を表します。

〈参考文献〉・五十嵐日出夫「過疎地域におけるソーシャル・ネットワークシステムに関する研究」(文部省科研報告(A)研究報告書) S.54.3

・ ECEC「小規模集落分散型社会におけるシビリティ・ネットワークとソーシャル・ネットワークに関する研究」 S.53.2

項目	その内容
①小買物	生鮮食料品などを中心とする毎日の買物
②中買物	本・紙・調味料などの週・月の買物
③大買物	家具・家電製品・洋服などの大きな買物
④軽医療	軽い病気・怪我など軽度の医療機関
⑤重医療	重い病気・入院など重度の医療機関
⑥娯楽	外食・映画などの日常的娯楽
⑦教育	小・中学校を除く高等教育機関
⑧催物	冠婚葬祭などの催物(地域集会を除く)

表-2 目的別(項目別)地域依存率 (%)

項目	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
01	2.2	4.4	4.4	2.2	6.7	7.1	2.9	0.0
02	0.0	8.6	46.9	12.3	98.8	93.0	50.7	3.7
03	18.3	19.2	49.0	42.0	70.5	89.5	74.4	17.3
04	0.0	9.7	13.9	9.7	25.8	30.8	19.0	0.0
05	0.0	9.4	67.7	40.6	77.8	72.0	8.7	21.9
06	0.0	5.1	18.9	35.9	66.7	51.4	6.1	0.0
07	4.5	4.5	36.4	15.9	100.0	64.1	47.6	4.5
08	2.6	7.3	64.1	42.1	74.3	80.6	27.6	5.1
09	20.5	38.6	79.1	86.4	100.0	100.0	94.9	63.6
10	7.3	17.9	44.7	17.9	94.6	84.8	42.9	35.9
11	6.9	4.4	24.1	17.2	44.8	80.0	36.0	13.8
12	3.7	6.7	23.3	20.0	69.0	40.9	13.0	0.0
13	19.6	4.3	48.9	34.8	83.7	78.8	15.4	15.9
14	5.0	21.7	41.7	11.7	58.3	75.6	17.0	12.1
15	19.6	32.4	78.8	76.5	100.0	100.0	100.0	8.8
16	0.0	0.0	4.2	0.0	4.3	18.2	5.3	0.0
17	0.0	3.0	56.7	33.3	71.9	71.4	100.0	6.1
18	6.0	12.0	62.0	90.0	98.0	95.7	100.0	10.0
19	14.6	35.0	67.5	41.5	85.0	77.7	34.2	19.5
20	25.0	42.4	74.1	45.8	93.2	84.4	82.1	8.8
21	0.0	0.0	25.0	17.1	46.3	52.6	12.2	0.0
22	9.9	7.1	43.6	17.8	51.9	40.8	6.4	3.6
23	7.1	11.9	83.3	28.5	100.0	86.8	90.2	2.4
24	5.5	5.4	13.5	9.5	64.9	26.1	19.7	4.1

表-3 地域依存率の町表(重医療) (%)

項目	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
01	31																									
02		55																								
03			3	5																						
04																										
05					74																					
06						96																				
07							56	22																		
08								47	16	2		7														
09									25	15																
10											26															
11												7														
12													42													
13														30												
14															28											
15																										
16																										
17																										
18																										
19																										
20																										
21																										
22																										
23																										
24																										